

# おうち

第9号

2006.10

テーマ「ゲーム」



表紙絵「家族」よこたななこちゃん（年少）

## 特集 「ゲーム」

- ・ アンケートの結果
- ・ 寄稿「自然に抱かれて」 幼児教育センター幼児教育専門員 中村京子

## トピックス

子どもと読みたい一冊 「あひるのたまご」

掲示板

一人一人を見つめて

お知らせ

# 「ゲーム」

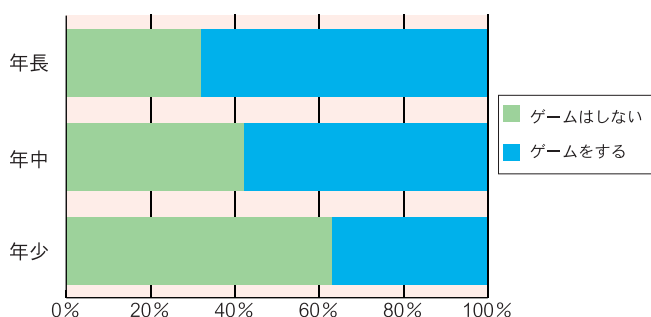
最近、見かける子どもたち。走り回るかわりにゲームに夢中になる姿が多くなりましたね。

いろいろな機種やソフトが次々と登場し、クリスマスには「サンタさんをお願いしよう」というお子さんも多いのでは？

ゲームで遊びたいという子どもたちに、親として、どう向き合っていけばよいか考えてみませんか？

## アンケート結果（回答数4,635件）

### Q. お子さんはゲームで遊みますか？



男の子の方がゲームで遊び始める年齢が低めでした。年齢が増すにしたがって興味が出てくるようです。

ゲームの種類では、携帯ゲームが8割を占めました。そのうち半分以上の子はTVゲームでも遊ぶようです。すごい普及率ですね。

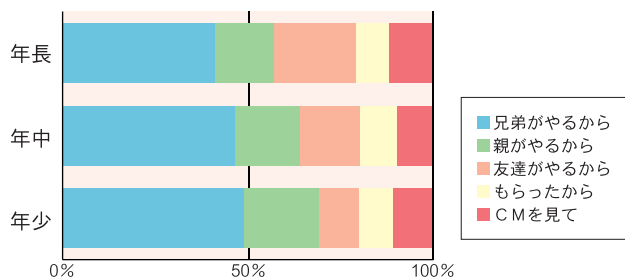


### Q. ゲームで遊ぶようになったきっかけは？

一番多かった「兄弟」の次は、TVゲームでは「親」、携帯式ゲームでは「友達」でした。

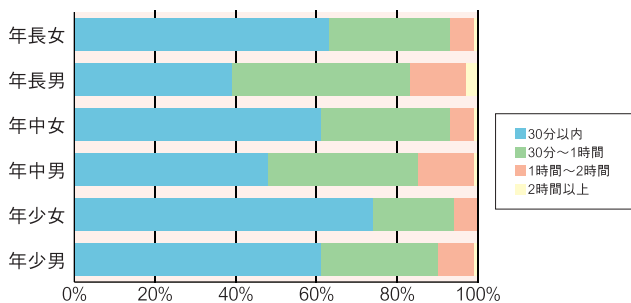
○父親がゲーム好きで困る。

○父親とのコミュニケーションとして、ゲームを楽しんでいる。などの感想を見ると保護者もゲーム世代！周囲の人の影響は大きいですね。CMがきっかけということは、TV視聴の時間も多いのでしょうか？

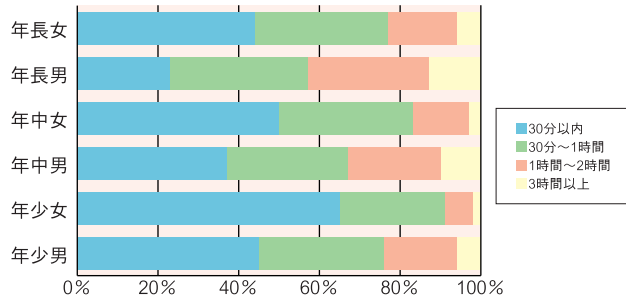


### Q. 一日にどのくらいゲームで遊みますか

(平日)

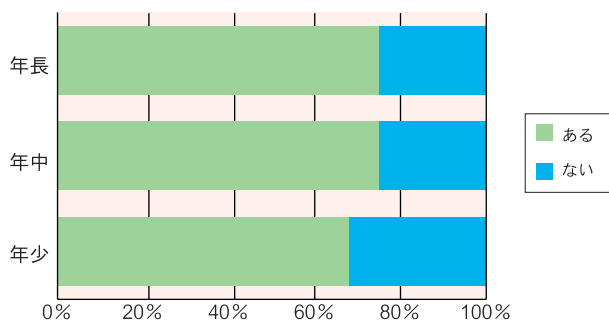


(休日)



平日より休日が、また、女の子よりも男の子のほうが遊ぶ時間が長い傾向がありました。1時間程度が大部分を占め、保護者の方がゲームで遊ぶことに対して気を使っていることがわかります。

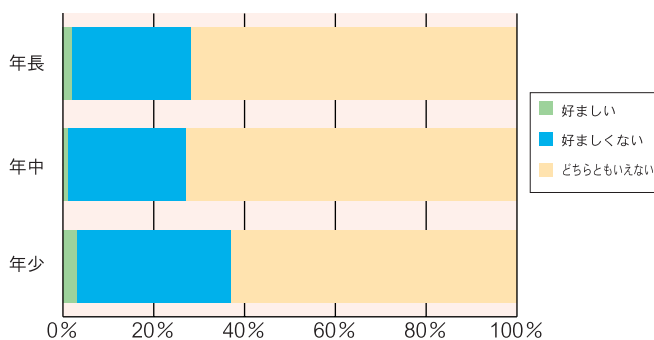
## Q. ゲームで遊ぶときに時間・場所等の約束はありますか？



- 7割前後の家庭で、約束をもっていました。
- ゲームを持って外出しない。
  - 時間を決めて遊ぶ。
  - 音量を小さくする。
  - 約束を守らなかったら、完全にゲーム禁止。
  - 夜はやらない。
- などが、多かったです。



## Q. お子さんがゲームで遊ぶことについてどうお考えですか



- 「どちらともいえない」への回答が多いのは
- 基本的には、ゲームで遊ぶことに賛成できないが、友達との関係で多少は仕方がないと思う。
  - 子どもにはまず遊びの中で本物に触れ、いろいろなことを全身で感じてほしい。
- に表される2つの考えの間で揺れる複雑な心境からでしょうか。

### 好ましいと思うこと

- ゲームを通して字が読めるようになった。
- オセロ、トランプなどのルールを覚える。
- 計算ゲーム、英語の勉強プログラム、頭を使うゲームなら良い。

### 好ましくないと思うこと

- 携帯式ゲームは目が悪くなる。
- ゲームは子ども本来の遊びを制限してしまう。
- リセットをすれば生き返る設定は良くない。

### 心がけていること

- ゲームの種類、時、場所、理由などの指示は大人がする。
- ゲーム以外のことに興味をもつようスポーツやイベントに率先して参加している。
- ゲームで興味をもった料理を実際にやって、現実とあわせた世界観をもたせている。



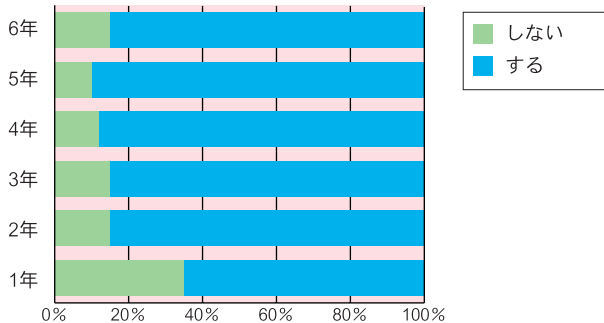
乳幼児期には、ゲームだけでなくテレビ、ビデオ等のメディアに長時間接すると脳の発達や身体や心の成長に影響を及ぼすことがいわれ始めています。これから研究が進んでいく分野ですが、「いつ、どこで、どのくらい遊んでいるか」「ゲームで遊ぶことで、いろいろな経験の場を失っていないか」などを心に留めて見守りたいものです。

感性豊かな子どもに育ててほしいというのは、誰もが願うことでしょう。幼児は生活や遊びの中で親や友達と言葉を交わしたり、身体を動かしたり、自然とかかわったりする直接的・具体的体験を通して、情緒的・知的な発達をしています。幼児期に様々な体験をして、心も頭も身体も育てていって欲しいものです。

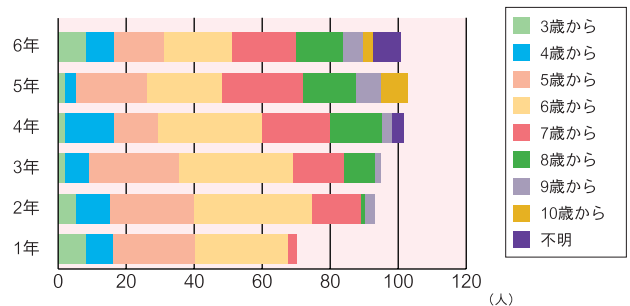
# 小学校では・・・

県内のある小学校が6月に、「ゲームと健康」についてのアンケート調査を行いました。その集計結果の一部をのぞいて見ると・・・

### ゲームの利用

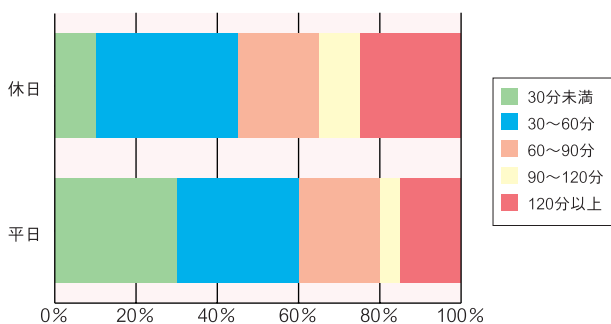


### ゲームをする児童のゲームの開始年齢



全体で見ると85パーセント以上の児童がゲームで遊んでいます。開始年齢は5～6歳に多く、小学校入学前から始める児童が多いようです。学年別や本誌のアンケート結果と比較してみると、ゲームの開始年齢は年々早くなっている傾向があるようです。

### ゲームで遊ぶ時間



全学年を通して、同じような傾向で、学校のある日は1時間以内の利用がほとんどでした。休日の利用時間が平日より長めになるのは幼児と同じです。自由意見などから、視力低下などを意識して時間を制限している様子が見られます。平日の最長時間は6時間、休日は14時間30分と、驚くような時間のお子さんもいたようです。



## 児童の意見

ゲームをした後は「楽しい気分になれる」反面、「目や肩が疲れる」「興奮して眠れない」「頭痛、くらくらする」「眠くなる」「もっとやりたくなる」「いらいらする」などの声がありました。また、このアンケートに答えたことで、ゲームのいろいろなマイナス面に気づいたので気をつけたいという意見が多くありました。



自分の気持ちを言葉で表せる児童の意見は、とても参考になりますね。ゲームに夢中になっている小さい子どもたちも、内面は同じなのではないでしょうか。

## もっと詳しく！

特集「ゲーム」はいかがでしたか。ゲームと子どもの関係は、子どもの遊びだけでなく、子どもの育ち方に大きな影響を与える時代になったように思います。少し考えてみたい方、参考にしてください。

## インターネットで・・・

「子どもとテレビゲーム」に関するNPO等についての調査研究報告書文部科学省スポーツ・青少年局  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/ikusei/main4\\_a7.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/main4_a7.htm)

他にもインターネットやテレビ関係の報告書などが載っています。

## 書籍で

『人間になれない子どもたち—現代子育ての落とし穴—』清川輝基著 柘出版社

## 「自然に抱かれて」

「♪夕焼け小焼けで日が暮れて」皆さんもあなじみの童謡「夕焼け小焼け」。この歌を口ずさむ度に、私は近所の友達と仲良く遊んだ幼い頃のこと、昨日のことのように思い出されます。

私は幼い頃、宇都宮市の県庁の近くの住宅街に住んでいました。当時はこの辺でもちょっと足を伸ばすと、近くにキャベツ畑や麦畑などが広がっていて、格好の遊び場でした。春は、キャベツの葉に付いているモンシロチョウの卵を見つけたり、麦畑の中でかくれんぼをしたり、夏には、小川で裸足になって、日がな一日遊びました。秋になると、ドングリなどの木の実を求め、今は住宅団地になってしまった雑木林の中に入って遊んだこともありました。もう少し足を伸ばすと水道山にも行くことができ、夕焼けが終わり、薄暗くなるまで、夢中になって遊んだものでした。

子どもの時代にしか経験することのできない大きな自然に抱かれて、友達と夢中になって遊ぶ体験。ふと気がつくと、太陽が今まさに西の空を真っ赤に染めながら、「またあしたね。」と語りかけるように沈んでいくあのだそがれ時。友達と「さようなら」といいながら、家路に急ぐ名残惜しさ。そのとき、あちらこちらから匂ってくる煮物、焼き魚、味噌汁等晩御飯の匂いも、いまは懐かしい思い出です。

昨今では、交通量の増加、遊び場の減少、不審者の出没、子どもをターゲットとする凄惨な事件、少子化など、いろいろな社会的変化により、今、子どもたちが声を響かせて、夢中になって暗くなるのを忘れるくらい、戸外で遊ぶことは激減しています。その代わりに、屋内で楽しく遊べるゲームソフトが発達し、学齢期になると、塾通いなどが、主流となってきていますね。こうした子ども時代を過ごしている今の子どもたちは、おとなになって、この童謡を聴いたとき、どんな思い出が湧くのでしょうか。

自然があたりまえのようにあった時代、子どもの

幼児教育センター  
幼児教育専門員

中村京子



世界はタテ社会で結ばれていました。小さい子は、年上の子どもたちの遊びや地域での役割を目の当たりにして、「自分も大きくなったらあんなふうになりたい。」との思いを強くするものです。また、年上の子どもたちも、小さい子どもたちに教えることによって、自信を持てるようになり、また、先輩としての満足感を味わいます。このような人間関係に加え、自然の中には多くの生き物が数多くいます。

虫、魚、きれいな花や、木の実など、多くの生物が自然の恵みと共に生きていることを感じます。「みんなが、生きている。みんなで、生きている。」そんな思いから、友だちへの信頼につながり、仲間の支え合いを、身をもって感じ、子どもたちは、自信に満ちたしっかりした足取りで生きていくことができるのではないのでしょうか。

もしここに、ゲームで遊ぶことと、大自然の中でたくさん友だちと遊ぶこと、存分遊ぶことの2つの選択肢があったとしたら、子どもたちは圧倒的に、後者の大自然で遊ぶ方を選択すると私は思います。でも、悲しいかな、今の社会情勢では、屋内で過ごすことを強いられている現状ではないのでしょうか。そんな状況下では、電子ゲームの発達を否めないものがあります。

「昔は良かった。」と言うつもりはありません。しかし、自然のなかでの遊びを十分経験できない今の子どもたちに、大人は何をしてあげられるか？真剣に考える時がきているのではないのでしょうか。われわれ人間も自然環境で生きている動物。願わくは、われわれ大人が、子どもたちに、豊かな自然の中で思う存分に安心して遊べる環境を意識して用意してあげることが必要だと考えます。そのためには、身近なことを1つずつ見つけて、実行していきたいものです。



# トピックス



**Q** 小学校に入るまでにどんなことを身につけておくことが大切なのですか。

**A** 年長さんにとっては、小学校での就学時健康診断が始まる頃ですね。幼稚園や保育所で学んだたくさんの方のことを基に、一人一人が小学校生活で自分らしさを発揮して欲しいものです。

一般的ですが「その年齢なりに自分のことが自分でできる」といいですね。学校生活で幼稚園・保育所と違うのは、時間割に沿って、勉強をしたり運動をしたり休んだりすることです。勉強では、人の話を聞いたり、自分で思っていることを伝えたりすることが大切です。また、限られた時間で着替えをしたり片づけをしたりすることも必要になります。1年生の先生は、スムーズに学校生活に取り組めるように考えてくれますが、ある程度、時間を意識してできると良いですね。

もう1つあげるとすると「あいさつ」です。あいさつができることは、友達や先生と親しくなれる第一歩です。「おはよう」「おはよう」と声が出ると仲良しの始まりですし、今日も一日楽しそうだなという気分になります。元気にあいさつのできるお子さんは友達とのかかわりも活発なようです。

どうしたらあいさつができるお子さんになるのでしょうか。朝、お子さんに「おはよう」と笑顔で声をかけていますか。食事をする時に「いただきます」とお母さんやお父さんから進んで言っていますか。いろいろな場で周りの人が「あいさつ」をしていると、見よう見まねでお子さんも言い出すはずですよ。

「ちゃんとあいさつをしなさい」と言うより周りの人があいさつをしている環境を作る方が効果がありそうです。

それぞれの小学校から保護者の皆さんへのお話しの場もあるかと思しますので、その機会を大切にしてください。

**Q** 素朴な手作り料理を教えてください。

**A** 簡単にできるもの、子どもの喜ぶものなど、たくさんのご希望がありました。今回は「すいとん」をご紹介します。保育園の給食でも人気メニューです。

【材料】2人分

薄力粉 250 グラム、水約 1 カップ、さといも 2 ケ、大根・にんじん・ごぼう各 3 cm、白菜 1～2 枚、だし汁 2, 5 カップ、しょう油 大さじ 2

- 1 サトイモは皮をむき一口大に、大根・にんじん・ごぼうは薄切りにします。白菜は縦半分にし、2センチ幅に切ります。
- 2 小麦粉と水をボールに入れ、ホットケーキ種より少し固めぐらいに練ります。
- 3 だし汁で1を煮込み、野菜が柔らかくなったら2をスプーンですくい落とし、しょう油を入れて、煮立てて出来上がり。

\*材料の野菜は目安です。種類や量にこだわらず、冷蔵庫の整理をかねて作ってみませんか？



子どもと読みたい  
一冊

## 「あひるのたまご」ばばあちゃんのおはなし

さとうわきこ作・絵

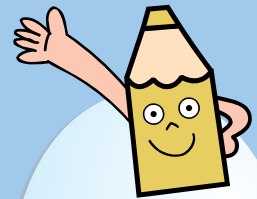
福音館書店



おはなしが表紙から始まり、何かな何かなと、話の展開に引きずり込まれます。やさしさと期待感、よるこびを味わえる絵本です。動物がたくさん出てきて、お子さんとの会話も弾みますよ。

### 掲示板

### 自由意見で寄せられた声です



他県から  
引っ越して  
きたので、栃木の  
子育て・事情が  
参考に  
なった。

表現を  
和らげて  
ほしい。

園の先生から子  
どもたちや親に  
対して感じるこ  
とや要求などを  
聞いてみたい。

親学について  
知りたい。

### 『親学習プログラム』

保護者同士が、身近なエピソードやワークを通して話し合い交流しながら子育てについて学ぶ参加型の学習プログラムです。日頃の子育てを振り返ってみませんか♪  
お問い合わせは、各市町村教育委員会生涯学習課、県教育委員会生涯学習課  
(Tel 028-623-3404) までお願いいたします。

プログラムは栃木県のホームページからもご覧になれます。

URL:<http://www.pref.tochigi.jp/syougai-gakusyuu/oya-pro/oya-pro.html>

「おうち」は栃木県教育委員会の幼児教育部門である「幼児教育センター」が子育てをしている方々へ子どもについての情報を提供するために発行しています。バックナンバーはホームページで読むことができます。

また、表紙の絵やカット、子どものつぶやきなど随時募集しています。直接または園を通じて、幼児教育センターまで送付ください。

### ●アンケートのお願い● 次回テーマ「睡眠」

掲示板にも声が寄せられています。親として悩みどころの「睡眠」。早寝早起きが大切なことは、わかっている、実際にはなかなか難しい現実が・・・。

こんなことで苦勞しています！ みんな何時ごろ寝ているの？ 上手に寝かせている人はどんなコツがあるの？ みなさんの言いたい・聞きたい事をアンケートでお寄せください。

「おうち」は皆さんの声で構成する広報誌です。ぜひ、ご協力ください。

# 一人一人を見つめて

## ③ 落ち着きがない子ども

シリーズの3回目は、落ち着きのない子どもへのかかわり方について紹介します。  
一口に落ち着きがないといっても、その姿や考えられる要因はさまざまです。

### ○元気で活発な子ども

子どもは、生活空間や興味・関心の広がりによって、元気で活発に動き回る時期があります。しかし、自分をコントロールする力が育ってくると、少しずつ落ち着いて行動できるようになります。このような時期には、子どもの成長する力を信じて温かく見守ってあげることが大切です。

### ○多動や不注意が目立つ子ども

ひと時もじっとしていない、順番が守れないなどの行動により、生活面でのトラブルが目立つ子どもがいます。このような子どもに対しては、無理に押さえたり叱ったりせず、活動中に適度の休憩を挟んだり、約束を決めて守れたときには十分に誉めてあげたりしながら、集団生活において自信を損なわずに育っていけるように配慮することが必要になります。

### ○不安な気持ちを抱える子ども

保護者が仕事や自分自身の抱える問題に追われて子どもに向き合う時間がなかなか持てない状況にあると、子どもにも不安な表情やイライラした態度が一過性で見られることがあります。時には日常から離れてお出かけをしたり保護者と子どもで身体を使った遊びを十分に楽しんだりして、リフレッシュすることも必要です。保護者とのかかわりは子どもにとって何よりの心の栄養となるのですから。

子どもは、人やものとの豊かなやりとりを通して成長をとげていきます。まわりの大人が子ども一人一人の個性や特性に応じて上手にかかわることで、子どもは自信を深めながら社会的な力を身につけていくことができるようになります。

## お知らせ



### 家庭教育ホットライン（保護者専用）

保護者の皆さん！お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？

秘密は絶対に守ります！一人で悩まず気軽に御相談ください！

**TEL 028(665)7867**

受付時間毎日午前9時から午後10時まで

【午後10時～午前9時までは留守番電話・FAX（電話番号と同じ）で対応】

栃木県教育委員会

### とちぎテレビ番組「とちぎ教育新事情」の御案内

「おうち」第9号に関するテレビ番組を下記のように放映しますので参考にしてください。

日 時：平成18年11月19日（日） 10：10～10：30

再放送：平成18年11月20日（月） 12：05～12：25

内 容：「ゲーム」

### 家庭教育広報誌「おうち」第9号

平成18年10月発行

発行者 栃木県教育委員会幼児教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

URL : <http://www.tochigi-c.ed.jp/youji/> e-mail : [youkyou@tochigi-c.ed.jp](mailto:youkyou@tochigi-c.ed.jp)